

当社デザイン力を核とした多品種小ロット 対応ウェアプリント新規立ち上げ事業

株式会社 マークス

事業者の概要

企業名	株式会社マークス	業種	繊維工業
代表者名	代表取締役 田中 博	T E L	096-245-2000
設立	昭和55年9月	F A X	096-245-5500
住所	熊本市北区貢町780-12	U R L	http://www.marks.co.jp
資本金	1000万円	E - m a i l	info@marks.co.jp
従業員数	180人	担当者名	有川 省吾

事業内容・経緯

同社はスポーツウェアに特化し、デザインから縫製までを行う企業として、スポーツメーカーや小売店などにプロチームのユニフォーム等の商品を供給してきた。これまでB to Bで培ったデザイン力を活かし、販路をB to Cに広めるべく、クラス単位やアマチュアチーム単位などの小ロットでもフルカラーかつクオリティーの高いデザインのウェアを短納期で供給できる体制づくりに取り組み始めている。現在、インターネット上で注文者自身がクオリティーの高いストックデザインから様々な用途やパターン、フォントなどを選択することでオリジナルデザインをシミュレーションし、作成、注文することができる独自システムを開発している。今回、このシステムと連動して色鮮やかなデザインのウェアを多品種小ロットで生産するため、綿製品のウェアに直接フルカラーでプリントすることができる最新のガーメントプリンターを、ものづくり補助金を活用して導入した。

事業の成果

最新のガーメントプリンターを導入後、前処理や後処理、ソフトウェア選定、生地を選定などについての検討とテストを重ね、製品としてのクオリティーを高めるための調整を行った結果、最適な印刷条件を抽出することができた。加えて、注文者自身がネット上でウェアデザイン製作を行うことができる前述のシステムとガーメントプリンターとの連携構築や、作業にあたる従業員に対して教育訓練も併せて行った。これらの取り組みの結果、印刷条件や機械設定、オペレーションが確立し、本事業の目的である多品種小ロット対応ウェアプリントの生産体制が整った。

従来のシルクプリントでは、1色1版でデザインが制限されるほか、仕上がりが個人のスキルに左右されるというアナログの難しさがあったが、今回のデジタル化により社員の熟練度に関わらず安定した製品供給が期待される。

今後の展望

本事業を活用して、従来のシルクスクリーン技法ではできなかったフルカラー・小ロットでのウェアへの印刷とこれまで個人ノウハウであった技術をシステム化することができた。最終的にはデザインがオリジナルウェアの市場を動かすとも考えており、クオリティの高いデザインを簡単に作成できる自社開発のシミュレーション&発注システムを利用し、デザイン作成からウェアへの印刷までのデジタルー貫製作体制を構築し、多彩なオリジナルデザインウェアを市場に提案・提供することを目指す。

現在、売上の大部分をスポーツメーカーからの受注が占めているが、今後は既存の販路などを活用しながら、高付加価値製品としてスポーツ以外のオリジナルウェアやクラストシャツ、アパレルなど新たな分野にまで市場を広げて顧客を獲得していきたい。



▲今回導入した最新のガーメントプリンター



▲綿製品のウェアに直接プリントできる



▲試作を繰り返した結果、高品質なフルカラープリントのノウハウを確立した



▲従来のシルクプリントでの作業の様子